

日程第２ 議案第３５号

「熊谷市史編さん大綱」の改定に係る熊谷市史編さん委員会への諮問について

このことについて、別添のとおり、熊谷市史編さん委員会へ諮問する。

熊教社発第 号
令和 3 年 月 日

熊谷市史編さん委員会委員長 様

熊谷市教育委員会
教育長 野 原 晃

熊谷市史編さんについて（諮問）

熊谷市史編さん事業の適正な推進を図るため、熊谷市史編さん委員会条例（平成 19 年条例第 24 号）第 2 条の規定に基づき、下記の事項について、別添資料を添えて諮問します。

記

「熊谷市史編さん大綱」の改定（「熊谷市史編さん刊行計画」及び「熊谷市史編さん年次計画」の一部変更）について

「熊谷市史編さん大綱」の改定（「熊谷市史編さん刊行計画」及び「熊谷市史編さん年次計画」の一部変更）について

下記により「熊谷市史編さん大綱」を改定することについて、貴委員会の意見を求めます。

記

1 改定の内容（別紙「熊谷市史編さん大綱（改定案）」参照）

「熊谷市史編さん大綱」中の「熊谷市史編さん刊行計画」（以下「刊行計画」という。）及び「熊谷市史編さん年次計画」（以下「年次計画」という。）について、次のとおり変更する。

(1) 刊行計画

ア 「本編」の項中のNo.4「資料編 6・7・8 近代・現代」及びNo.5「通史編 上巻・中巻・下巻」、並びに「調査報告書」（「(カラー版)」又は「(映像版)」の付されないもの）の項中のNo.2「諸家文書目録」、No.3「行政文書目録」及びNo.4「新聞記事目録」の各「担当部会」の欄において、「近現代」を「近代・現代」に改める。

イ 「調査報告書（カラー版）」の項に、次の1行を加える。

[No.]	[編 名]	[担当部会]	[範囲・内容]	[冊数]
5	荻野吟子 その歩みと出会い	近代・現代	初の公許女性医師・荻野吟子に関する、自身や周囲の人々による史料等を収録	1 冊

(2) 年次計画

ア No.4「資料編 6・7・8 近代・現代」の各巻のうち、「熊谷地域編 上」（『熊谷市史 資料編 6 近代・現代 1（熊谷地域編 上巻）』）の刊行年度を令和4年度から同10年度に移行する。

また、当該移行に伴い、当該巻に係る執筆のための調査期間及び執筆期間を別紙「熊谷市史編さん大綱（改定案）」中の年次計画（以下「年次計画」という。）に記載のとおり改める。

イ No.5「通史編 上巻・中巻・下巻」の各巻のうち、「中巻」（『熊谷市史 通史編中巻 近世』）の刊行年度を令和11年度から同12年度に、「下巻」（『熊谷市史 通史編下巻 近代・現代』）の刊行年度を令和10年度から同13年度に、それぞれ移行する。

また、当該移行に伴い、当該各巻に係る執筆のための調査期間及び執筆期間を別紙年次計画に記載のとおりそれぞれ改める。

ウ No.14 「(調査報告書) 仏像・仏画」について、「報告書②」を新たに加え、刊行年度を令和5年度とし、「(ほかに、進捗状況に応じて報告書2冊を刊行する。)」を「(ほかに、進捗状況に応じて報告書1冊を刊行する。)」に改める。

また、当該巻に係る執筆期間を別紙年次計画に記載のとおり定める。

エ No.15 として、(編名)「(調査報告書) 荻野吟子 その歩みと出会い」を新たに加え、刊行年度を令和4年度とする。

また、当該巻に係る執筆期間を別紙年次計画に記載のとおり定める。

2 改定の理由

(1) 刊行計画

ア 上記1(1)アについて

去る令和2年12月に開催した、熊谷市史近代専門部会及び同現代専門部会の合同会議において、当該2専門部会を統合し、「熊谷市史近代・現代専門部会」(以下「近代・現代専門部会」という。)とすることに決定したため。

イ 上記1(1)イについて

近年、我が国における最初の公許女性医師で本市出身の荻野吟子に関する調査を行う過程において、重要な新出史料が多数見いだされたことから、同氏が埼玉県の大偉人の一人に位置付けられていること等も踏まえ、当該史料に関する調査の成果をまとめ、熊谷市史の調査報告書として刊行することにより、新たな荻野吟子像を市民等に広く知らせる点において意義があると考えられるため。また、「調査報告書(カラー版)」として刊行を予定しているものの中に近代以降に関する巻が無いことから、その状況を解消する観点からも刊行が望ましいと考えられるため。

(2) 年次計画

ア 上記1(2)アについて

「熊谷地域編 上」の対象である、熊谷地域(旧熊谷市の地域)の近代に関する史料の量が当初の見込みに比べて大幅に多いこと、また、昨年からの新型コロナウイルスによる感染症禍の現況により、熊谷市史編集委員及び同協力員による当該史料に係る調査等の進捗に支障が生じている状況を踏まえ、刊行年度を移行(延期)する必要があるため。

イ 上記 1 (2)イについて

前回の改定（令和 2 年 1 月）において、熊谷市史近世専門部会が編集を担当する『熊谷市史 資料編 近世』各巻（妻沼地域編、熊谷地域編 上巻、熊谷地域編 下巻）の刊行年度を、それぞれ当初予定の翌年度（令和 3、6、9 年度）に移行したことに伴い、同専門部会が同様に編集を担当する「通史編中巻」についても、編集期間の確保等の観点から、刊行年度を当初予定の令和 1 1 年度から同 1 2 年度に移行する必要があるため。

また、前記(3)の刊行年度の移行により、「熊谷地域編 上」と同じく近代・現代専門部会が編集を担当する「通史編下巻」の刊行年度が重なることから、後者の刊行年度も併せて移行する必要があるため。

ウ 上記 1 (2)ウについて

去る令和元年度に 1 冊目を刊行した「調査報告書 仏像・仏画」（全 3 冊刊行予定）について、続巻である 2 冊目の刊行を、他の熊谷市史刊行物（本編、別編及び調査報告書（カラー版）。以下「市史刊行物という。」）の刊行予定のない令和 5 年度とすることにより、市史刊行物の着実な刊行を図るため。

エ 上記 1 (2)エについて

上記(1)イの調査報告書について、関連する調査及び関係する史資料の読解等が順調に行われていることから、他の市史刊行物の刊行予定のない令和 4 年度とすることが適当と考えられるため。

熊谷市史編さん大綱（改定案）

平成19年10月 1 日制定
平成27年 4 月 1 日改定
平成30年 5 月 1 日改定
令和 2 年 1 月12日改定
令和 年 月 日改定

1 市史編さんの経緯と趣旨

(1) 経 緯

本市においては、旧熊谷市として昭和38年に熊谷市史前篇、39年に熊谷市史後篇が、また昭和59年に熊谷市史通史編が刊行され、旧妻沼町として昭和52年に妻沼町史が刊行された。しかし、それぞれ、当時の情勢に応じて刊行された意味合いがあるものの、いまだ各分野にわたる、調査報告書、資料編、別編等が刊行されていない。

このような中、旧熊谷市では、平成14年度に「熊谷市史編さん準備委員会」が、また、旧妻沼町では平成16年度に「妻沼町史編さん準備委員会」が発足した。さらに平成17年10月に熊谷市、大里町及び妻沼町が合併し、平成17年度に「熊谷市史（旧妻沼町編）編さん準備委員会」が設置され、市史の発刊を目指し審議を重ねた。しかし、各準備委員会において一定の成果は上がったものの、平成の大合併のさなかということもあり、市史編さんの本格的な着手は、平成19年2月の江南町との合併後新たに熊谷市史編さん委員会を設置し、審議を経てからとされた。

(2) 趣 旨

大合併の波が一段落し、新熊谷市の体制が整い、かつ熊谷市史編さん委員会が発足された今、熊谷地域、妻沼地域における歴史・文化・民俗・自然等を取り扱った総合的な市史の編さん・刊行に着手することは時機を得たものであり、同時に市民の願いである。

熊谷市史編さん委員会では、以下のような基本方針及び基本計画の基に熊谷市史を編さん・刊行することが望ましいと考える。

なお、大里地域、江南地域は既に村史・町史が刊行済みであるため、熊谷市史編さん準備委員会（合併前及び合併後のもの）において検討された成果を踏まえ、主として熊谷地域及び妻沼地域を対象として編さんするものとする。しかし、通史編、普及版及び歴史年表については、新熊谷市を対象とすることが自然と考えられること、また、指定文化財、仏像・仏画及び民俗芸能（映像）については、未だ刊行されていないことを考慮し大里地域及び江南地域を対象に含むものとする。また、自然編については、熊谷・大里・妻沼地域を対象とする。

2 市史編さんの目的

- (1) 熊谷市の歴史的・文化的発展の過程を実証し、先人の営みや歴史を集大成し、未来の市民への歴史的文化遺産とする。
- (2) 市民の郷土に対する関心と愛着を深め、地域的連帯感やふるさと意識、さらに市民意識を高揚し、まちづくりに活かす。

- (3) 市民文化の向上と熊谷市の発展に寄与する。
- (4) 歴史的、文化的資料の散逸・消滅を防ぐとともに、新しい資料や史実の発掘・発見に努め、それらを体系的に整理、記録、保存し後世に伝える。
- (5) 熊谷市における文化的事業として位置づけ、熊谷市の歴史・文化を全国に発信する。

3 市史編さんの基本方針

- (1) 市域・県内のみならず全国的・世界的視野を持って歴史全体の流れの中で、熊谷市の歴史を捉えること。
- (2) 時代ごとに熊谷の特色を明らかにするよう配慮し、市民の立場に立ち、市民誰もが親しめる市史を編さんすること。
- (3) 人権尊重の視点を大切にすること。
- (4) 重要な資料を調査収集して、学問的評価が得られる内容を維持し、研究者の便に資するとともに、平易な叙述を心がけ、市民にわかりやすい市史とすること。
- (5) 小・中学校の「地域を学ぶ」学習など総合学習の資料及び高校の「地域学習」の資料として役立つことができる市史であること。
- (6) 資料編等については、詳細かつ網羅的であり、専門的な内容を包括する市史であること。
- (7) 編さんの過程で収集した資料は、市史刊行後、市民が活用できるよう保存管理し、将来に伝え残すための措置をすること。
- (8) 市史編さんの過程において啓発を図りながら、広く市民の協力を求めること。
- (9) 購入しやすい価格にすること。
- (10) 調査・研究が終了したものから順次刊行すること。

4 市史編さんの基本計画

(1) 構成

市史の構成は通史編、資料編、別編、普及版及び各種報告書等に分けて編さんする。
ただし、資（史）料の収集状況によりそれぞれの予定巻数を増減できるものとする。
詳細は、熊谷市史編さん刊行計画（案）のとおり。

(2) 体裁

- | | | |
|--------------|----|-----------------------|
| ① 通史編・資料編 | 型 | B 5 判 |
| | 頁数 | 各巻 5 0 0 ～ 1, 0 0 0 頁 |
| | 活字 | 明朝体 |
| | 紙質 | 書籍用上質紙 |
| | 装丁 | クロス表紙 カバー巻き |
| ② 別編・普及版・報告書 | 型 | A 4 判 |
| | 頁数 | 各巻 3 0 0 ～ 1, 0 0 0 頁 |
| | 活字 | 明朝体 |
| | 紙質 | 書籍用上質紙 |
| | 装丁 | 無線綴じ 並製本 |

(3) 発行部数

市民・県民等の郷土への理解を深めるため、市内の学校、県内の図書館、県立文書館へ配布するほか、行政施策に資するため市議会や県内市町村等に配布する。

また、関心を有する市民・研究者等の要望に応えるに十分な部数を有償で頒布する。
具体的な部数は、発行段階で、改めて市史編さん委員会で協議する。

(4) 発刊期間

平成19年度から令和14年度まで

詳細は、市史編さん年次計画（案）のとおり。

5 市史編さんの組織体制

市史編さん事業を円滑、効率的に推進するため、市史編さん委員会及び市史編集委員を置く。市史編さん委員会は、市史編さんに関する基本方針及び基本計画を定めるための諮問機関であり、市史編集委員は市史に関する調査、執筆、編集等の具体的な実務に当たるものとする。

組織図については、別紙のとおりとする。

各委員会の構成、会議の開催については下記のとおりとする。（ただし、市史編さん委員会については、条例で規定されている。）

市史編さん委員会

構 成

- (1) 市議会議員
- (2) 文化財保護審議会委員
- (3) 知識経験を有する者
- (4) 市民団体の代表者
- (5) 公募による市民

会議の開催

熊谷市教育委員会の諮問に応じ、市史編さん委員会会議を開催する。

市史編集委員

構 成

- (1) 監修者 1 名
- (2) 専門委員 1 2 名
- (3) 専門調査員 5 0 名以内

会議の開催

年次計画に従い、必要に応じ随時編集委員会会議を開催するものとする。

熊谷市史編さん刊行計画

本 編

No.	編 名	担当部会	範 囲・内 容	冊 数
1	資料編 1 考古	考古	熊谷・妻沼地域の旧石器時代～現代の遺跡・出土遺物を収録	1冊
2	資料編 2 古代・中世	古代、中世	古代～中世の熊谷・妻沼地域に関する史料を網羅的に収録	1冊
3	資料編 3・4・5 近世	近世	熊谷・妻沼地域の江戸時代の寺社・諸家文書などを収録	熊谷地域 2冊 妻沼地域 1冊
4	資料編 6・7・8 近代・現代	近代・現代	熊谷・妻沼地域の明治・大正・昭和・平成時代の行政・諸家文書、新聞などを収録	熊谷地域 2冊 妻沼地域 1冊
5	通史編 上巻・中巻・下巻	考古、古代、中世、近世、近代・現代	原始時代から現代までの熊谷市全域のすがたをまとめる	3冊

別 編

6	別編 1 民俗	民俗	熊谷・妻沼地域の祭りや行事、信仰などを多面的に解説	1冊
7	別編 2 妻沼聖天山の建築	建築	国重要文化財聖天堂や貴惣門など、妻沼聖天山の建築について解説	1冊
8	別編 3 自然編 1 地形・地質	自然(地形・地質)	熊谷・大里・妻沼地域の土地の成り立ちと特質を地質調査から解説	1冊
9	別編 4 自然編 2 動物	自然(動物)	熊谷・大里・妻沼地域に生息する昆虫、動物を調査し写真で解説	1冊
10	別編 5 自然編 3 植物	自然(植物)	熊谷・大里・妻沼地域の植物植生を調査し写真で解説	1冊
11	別編 6 地誌	地誌ほか	訪県録などの地誌を参考に、熊谷の新たな地誌をまとめる	1冊

普及版

12	普及版	全部会	写真・図版などを多く入れ、誰にでもわかりやすい通史を描く	1冊
----	-----	-----	------------------------------	----

調査報告書(カラー版)

1	中世の石造物	中世	全国有数の数を誇る板碑やその他の中世石造物について写真とともに解説	2冊
2	指定文化財	全部会	市内の指定文化財について、写真とともに解説	1冊
3	仏像・仏画	仏像	市内の仏像や仏画などについて、写真とともに解説	3冊
4	直実・実盛伝説	中世	中世以降の熊谷直実と斎藤実盛に関する史料等を収録	1冊
5	荻野吟子 その歩みと出会い	近代・現代	初の公許女性医師・荻野吟子に関する、自身や周囲の人々による史料等を収録	1冊

調査報告書(映像版)

1	民俗芸能	民俗	市内の無形民俗文化財(まつり等)を映像化して記録	未定(巻数)
---	------	----	--------------------------	--------

調査報告書

1	民俗基礎調査報告書	民俗	各分野の民俗について熊谷、妻沼地域で調査	14冊
2	諸家文書目録	近世、近代・現代	編さん事業で新たに調査をした文書の目録	未定
3	行政文書目録	近代・現代	明治～昭和時代の重要な行政文書の目録	未定
4	新聞記事目録	近代・現代	熊谷にかかわる新聞記事の目録	未定
5	近世の石造物	近世	近世の石造物について解説	未定

その他

1	熊谷市史研究	全部会	1年に1度、編集委員の論考を掲載	年1冊
2	熊谷市歴史年表	全部会	新熊谷市の歴史年表を作成	1冊
3	熊谷市史報告書	全部会	本編の補遺、本編では取り上げることができない事項についての報告	適宜

熊谷市史編さん年次計画

・凡例： ○ 刊行 ■■■■■■ 執筆期間 ■■■■■■ 執筆のための調査 (主に編集委員が行う調査) 基礎調査 (事務局が中心となって行う基礎的な調査) ■■■■ 調査の準備期間 (基礎的な資料の収集が十分でないため、執筆のための調査は原則として行わないが、年度あたり数回、専門部会会議を開催し、基礎調査に関する助言等を行う期間)

No.	年度 編 名	年度																															
		H19 準備	H20 1年目	H21 2年目	H22 3年目	H23 4年目	H24 5年目	H25 6年目	H26 7年目	H27 8年目	H28 9年目	H29 10年目	H30 11年目	R元 12年目	R2 13年目	R3 14年目	R4 15年目	R5 16年目	R6 17年目	R7 18年目	R8 19年目	R9 20年目	R10 21年目	R11 22年目	R12 23年目	R13 24年目	R14 25年目						
1	資料編1 考 古			■■■■■					■■■■■	○																							
2	資料編2 古代・中世		■■■■■			■■■■■	■■■■■	■■■■■	○																								
3	資料編 3・4・5 近 世		■■■■■										■■■■■					■■■■■	○	■■■■■		■■■■■	○	■■■■■		■■■■■	○						
		 地方文書所在確認・目録作成、県立文書館文書調査										 妻沼地域編					 熊谷地域編 上					 熊谷地域編 下					 史料の整理・保存措置						
4	資料編 6・7・8 近代・現代		■■■■■										■■■■■					■■■■■	○	■■■■■					■■■■■	○	■■■■■		■■■■■	○			
		 文書所在確認・目録作成、新聞・雑誌記事調査、県立文書館文書調査										 妻沼地域編					 熊谷地域編 下					 熊谷地域編 上					 史料の整理・保存措置						
5	通史編 上巻・中 巻・下巻					上巻（原始・古代・中世）			■■■■■			■■■■■	○								中巻（近世）		■■■■■		■■■■■	○							
																					下巻（近代・現代）		■■■■■		■■■■■	○							
6	別編1 民 俗		■■■■■					■■■■■	○																								
7	別編2 妻沼聖天山 の建築				■■■■■			■■■■■			■■■■■	○																					
8	別編3 自然編1 地形・地質																	■■■■■			■■■■■	○											
9	別編4 自然編2 動 物																				■■■■■		■■■■■		■■■■■	○							
10	別編5 自然編3 植 物																				■■■■■		■■■■■		■■■■■	○							
11	別編6 地 誌																				■■■■■		■■■■■		■■■■■	○							
12	普及版																									■■■■■	○						
13	(調査報告書) 中世の石造 物		■■■■■						石造物悉皆調査				2次調査				■■■■■				報告書	○											
14	(調査報告書) 仏像・仏画						■■■■■														報告書①		○	報告書②		○	(ほか、進捗状況に応じて報告書1冊を刊行する。)						
15	(調査報告書) 荻野吟子 その 歩みと出会い													■■■■■		■■■■■		報告書	○														

※ 表に記載のない調査報告書については、編集スケジュール未定(ただし、『民俗基礎調査報告書』については既刊)